

「相鉄・東急直通線 新横浜駅地下鉄交差部土木工事」が 土木学会賞を受賞！



横浜市交通局では、交通量の多い環状2号線の新横浜駅前交差点かつ大規模な円形歩道橋直下という厳しい環境の中で、地下に埋まっていた横浜市営地下鉄ブルーライン新横浜駅を仮の杭で支えながら(アンダーピニング)、新しい相鉄・東急直通線の新横浜駅(仮称)をつくっています。

工事中であっても通常どおり安全に列車を運行させ、お客様にも影響を与えずに工事を行いました。この難しい工事を高度な技術で克服したことで、国内で最も権威のある土木学会賞を受賞しました。

～ 受賞概要 ～

- 受賞名 駅前交差点直下における大規模アンダーピニング技術と工程短縮に向けた取り組み
～ 相鉄・東急直通線 新横浜駅 地下鉄交差部土木工事 ～
- 受賞部門 令和元年度 土木学会賞 技術賞
〔土木技術の発展に顕著な貢献をし、社会の発展に寄与したと認められる画期的な技術〕
- 受賞者 横浜市交通局
独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
鹿島・鉄建・不動テトラ・NB 建設共同企業体
- 受賞内容 営業している駅の下に新しい駅をつくる技術を評価
(詳細：裏面参照)



※ 土木学会賞とは…

土木学会は1914年(大正3年)に設立された歴史ある工学系団体です。土木学会では土木工学の進歩や土木事業の発達に顕著な貢献をし、社会の発展に寄与したと認められる事業を表彰しています。土木学会賞は1920年(大正9年)に設立された100年の伝統に基づく最も権威ある表彰制度です。

「相鉄・東急直通線 新横浜駅地下鉄交差部 土木工事」について

相鉄・東急直通線は、相鉄・JR直通線羽沢横浜国大駅から東急東横線・目黒線日吉駅間に独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が整備主体として事業を進めている新たな鉄道です。

相鉄・東急直通線の新横浜駅(仮称)が、横浜市営地下鉄ブルーライン新横浜駅と交差・接続するため、横浜市交通局が新駅工事の一部を受託して工事を進めています。

横浜市交通局では、営業しているブルーライン新横浜駅を仮の杭で支えながら(アンダーピニング)駅の下を掘り下げていき、新しい駅をつくっています。



掘削工事

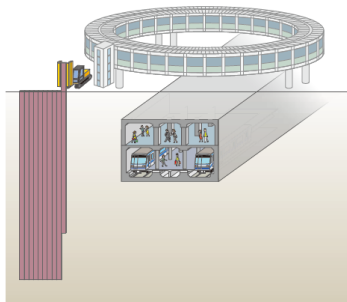


構築工事

工事の流れ

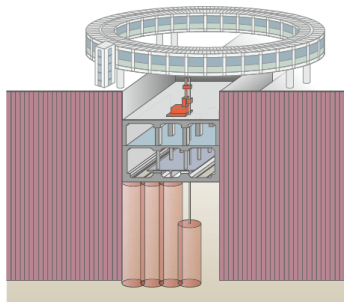
1 壁をつくります

掘削するための土留と躯体の一部を兼ねる、鋼製地中連続壁を構築します。



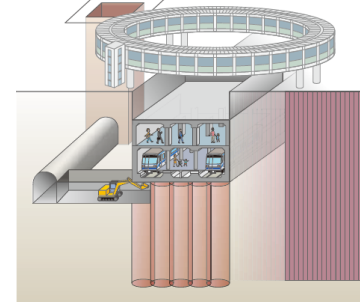
2 地盤を改良します

既存の駅の下は地上から鋼製地中連続壁を構築できないので、地盤改良により止水します。



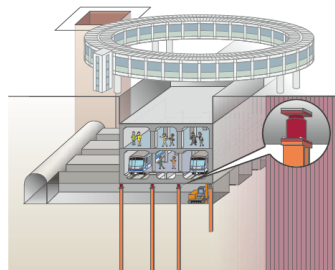
3 トンネルを掘ります

立坑(地上から地下へと降りるための穴)から地下鉄直下へトンネルを掘り進めます。



4 既存の駅を仮受けします

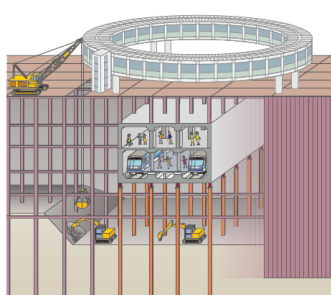
既存の駅の下に新たに駅をつくるため、事前に杭で仮受けします。あわせて、土留壁を構築します。



アンダーピニング工事

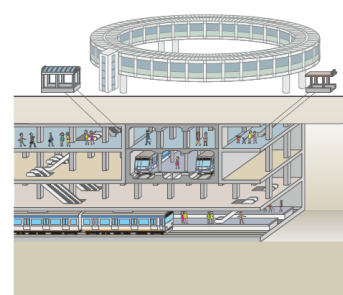
5 地面を掘ります

既存の駅の周りを掘削し、新しい駅を構築するためのスペースをつくります。



6 躯体をつくります

既存の駅を囲うように新しい駅を構築します。



お問合せ先

交通局新横浜工事事務所長 井川 廣視 Tel 045-474-2050